



## 平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年7月27日

上場会社名 株式会社キョーリン 上場取引所 東証一部  
 コード番号 4569 URL <http://www.kyorin-gr.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荻原 郁夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 伊藤 洋 TEL (03) 3293-3420

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年6月30日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	21,891	17.2	4,082	142.1	4,321	155.6	2,600	232.5
19年3月期第1四半期	18,685	—	1,686	—	1,690	—	782	—
19年3月期	77,093	—	8,413	—	8,655	—	4,842	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	34	73	—	—
19年3月期第1四半期	10	51	—	—
19年3月期	64	97	—	—

(注) 19年3月期第1四半期より開示を行っているため、19年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年3月期第1四半期	125,167		99,255		79.3	1,325	86	
19年3月期第1四半期	122,649		94,709		76.7	1,265	01	
19年3月期	124,039		98,178		79.2	1,311	17	

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第1四半期	4,305		△1,278		△907		14,962	
19年3月期第1四半期	4,593		△1,161		△1,481		15,528	
19年3月期	5,005		△3,140		△2,627		12,842	

### 2. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

平成19年5月14日に公表しました業績予想の変更はおこなっておりません。

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	40,300	14.8	3,100	59.7	3,600	74.7	2,000	139.9	26	71
通期	83,600	8.4	8,500	1.0	9,100	5.1	5,000	3.3	66	78

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う  
特定子会社の異動） : 無

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、5 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他 をご覧ください。

**※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項**

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、5 ページ【定性的情報・財務諸表等】

3. 連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

株式会社キョーリン（以下「当社」）グループの中核である医薬品事業が属する国内医薬品業界は、医療費・薬剤費の抑制策が継続的に実施されると共に、研究開発費の高騰、市場競争の激化が進むなど経営環境はこれまで以上に厳しさを増しております。

このような状況下、当社グループは 2007 年度の経営方針に「目標達成への成長軌道の確保」を掲げ、重点項目として①グループシナジー追求による成長促進②ブランド経営の推進・定着に取り組んでおります。

この結果、当社グループの当第 1 四半期の業績（連結ベース）は下記の通り順調に推移しました。

売上高	218億91百万円（前年同期比 17.2%増）
営業利益	40億82百万円（前年同期比142.1%増）
経常利益	43億21百万円（前年同期比155.6%増）
四半期純利益	26億00百万円（前年同期比232.5%増）

販売の状況につきましては、以下のとおりであります。

①医薬品事業

国内における新医薬品では、呼吸器内科・耳鼻科・泌尿器科に重点化する F C（フランチャイズカスタマー）戦略を重点的に推進し販売力発揮に努めました結果、175億43百万円（前年同期比22.8%増）の売上を計上いたしました。主要製品では、ロイコトリエン受容体拮抗剤・気管支喘息治療剤「キブレス」、気道粘液調整・粘膜正常化剤「ムコダイン」、潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤「ペンタサ」が順調に推移しました。また 2007 年 6 月には待望の新薬である過活動膀胱治療剤「一般名：イミダフェナシン」が薬価収載され、杏林製薬株式会社【製品名：ウリトス錠 0.1mg】と共同販売先である小野薬品工業株式会社【製品名：ステープラ錠 0.1mg】より新発売し、好調なスタートを切りました。今後とも、杏林製薬が推進する F C 戦略における重点領域の 1 つである泌尿器科を中心に「ウリトス錠 0.1mg」の市場への早期浸透を図り国内営業基盤の強化に取り組みます。一方、気管支喘息・脳血管障害改善剤「ケタス」、活性型ビタミン D3 製剤「ロカルトロール」、胃炎・胃潰瘍治療剤「アプレース」は前年を下回る実績となりました。

その他、医薬品事業におきましては、杏林製薬がドイツ フレゼニウスカービ AG グループと 2007 年 4 月に代用血漿・体外循環希釈剤「ヘスパンダー及びサリンヘス」に係わる全てのビジネスの譲渡に関する契約を締結し、当第 1 四半期に譲渡金を受け取りました。同薬のプロモーションは重点領域である F C 3 科（呼吸器内科、耳鼻科、泌尿器科）以外が中心となることから譲渡を決定いたしました。杏林製薬では、今後とも営業資源をより F C 領域に集中化して効率的なマーケティングを推進いたします。

ジェネリック（後発）医薬品では、キョーリンリメディオ株式会社を主体とするジェネリック医薬品の売上は 12億81百万円（前年同期比 0.7%増）となりました。

海外新医薬品では、広範囲抗菌点眼剤「ザイマー（導出先；米国アラガン社）」の現地売上が前年に引

き続き順調に推移しました。一方、広範囲合成抗菌剤「テクイン」は導出先である米国ブリストル・マイヤーズ スクイブ社が商業的な理由により米国をはじめとする諸外国での販売を2006年6月より順次中止したことから、原末輸出及びロイヤリティ収入が減少し、その結果、10億11百万円（前年同期比20.5%減）となりました。

## ②ヘルスケア事業

一般用医薬品他では、売上が10億06百万円（前年同期比11.1%減）となり、化粧品では、ドクタープログラム株式会社の売上が順調に拡大し7億04百万円（前年同期比52.1%増）となりました。今後とも、ハイリスク・ハイリターンかつ長期スパンである創薬ビジネス・医薬品事業に次ぐ事業として、体制の構築を進め早期の収益拡大に努めてまいります。

## ③販売促進・広告の企画制作

販売促進・広告の企画制作事業では、売上は2億26百万円（前年同期比5.4%減）となりました。

当社グループの中核事業における研究開発の状況につきましては、感染症、免疫・アレルギー、代謝性疾患に研究領域を重点化し資源を集中的に投入いたしており、杏林製薬創薬研究所、米国ActivX社、キョーリンスコットランド研究所における日・米・欧3極での創薬ネットワークを構築し、魅力ある製品の効率的な開発を推進いたしております。

国内開発の進展状況としましては、既申請品では過活動膀胱治療剤「ウリトス」が2007年6月に新発売されました。この結果、当第1四半期の研究開発費は22億83百万円（前年同期比18.3%増）となりました。

導出品の状況につきましては、海外において米国メディシノバ社に導出しているKCA-757の気管支喘息での開発が同社の社内事情により一時停止されました。

利益面では、売上高は国内新医薬品の売上増加等により前年同期比32億06百万円増となり、売上原価率は原価率の低い自社開発製品の上市及びビジネスの譲渡に関する譲渡金など一時金収入の増加により34.9%と前年同期に対し6.1ポイント低下し、売上総利益は前年同期比32億29百万円増となりました。販売費及び一般管理費では、研究開発費は前年同期比3億53百万円増加し、研究開発費を除く販管費では新製品の発売対応による販売費の増加及びドクタープログラム(株)の売上拡大に伴う販管費の増加等により78億85百万円（前年同期比6.5%増）となり、前年同期に対し4億79百万円増加しました。その結果、営業利益は40億82百万円（前年同期比142.1%増）と前年同期比23億96百万円増となりました。また特別損失1億69百万円を計上し、当第1四半期純利益は26億00百万円（前年同期比232.5%増）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産では、現金及び預金が25億71百万円、投資有価証券が7億98百万円それぞれ増加しましたが、受取手形及び売掛金が14億58百万円、有価証券が4億99百万円それぞれ減少したことにより、前連結会計年度末と比較して11億27百万円増加し、資産合計は1,251億67百万円となりました。

負債は、長期借入金が増加しましたが、支払手形及び買掛金が7億94百万円減少した

ことにより、前連結会計年度末と比較して 5 0 百万円増加し、負債合計は 2 5 9 億 1 2 百万円となりました。

純資産は、主に利益剰余金が 1 1 億 0 2 百万円増加したことにより、前連結会計年度末と比較して 1 0 億 7 7 百万円増加し、9 9 2 億 5 5 百万円となりました。

この結果、自己資本比率は 7 9 . 3 % となり、前連結会計年度末より 0 . 1 % 増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、4 3 億 0 5 百万円の収入であり、この主な内訳は、税金等調整前四半期純利益 4 1 億 5 2 百万円、減価償却費 1 0 億 7 8 百万円、売上債権の減少 1 4 億 5 8 百万円による増加、仕入債務の減少 7 億 9 4 百万円、法人税等の支払額 2 3 億 4 9 百万円による減少によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1 2 億 7 8 百万円の支出で、これは主に投資有価証券の取得による支出 2 2 億 8 7 百万円、投資有価証券の売却（償還）による収入 1 4 億 9 9 百万円によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、9 億 0 7 百万円の支出で、これは主に長期借入金の借入による収入 6 億 0 0 百万円、配当金の支払 1 4 億 1 8 百万円によるものです。

この結果、当第 1 四半期の現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末と比較して 2 1 億 1 9 百万円増加し、1 4 9 億 6 2 百万円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第 1 四半期は、ほぼ当初計画に沿った業績で推移しており、2 0 0 7 年 5 月 1 4 日に公表しました中間期及び通期の業績予想につきましては現段階で変更はございません。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

財務諸表等の作成に際しては、中間連結財務諸表規則に準拠しておりますが、以下の事項については実施しておりません。

1. 棚卸資産の实地棚卸の省略 : 帳簿棚卸によって算定しています。
2. 法人税等の計上基準 : 一部簡便的な方法を採用しています。

#### (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表  
 (1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)		当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)		前期末 (平成19年3月期末)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
(資産の部)		%		%		%		%
I 流動資産								
現金及び預金	16,063		15,320		12,749		2,571	
受取手形及び売掛金	25,957		30,056		31,514		△ 1,458	
有価証券	111		612		1,111		△ 499	
棚卸資産	14,535		14,573		14,614		△ 40	
繰延税金資産	2,273		2,473		1,993		480	
その他	2,238		3,360		2,961		399	
貸倒引当金	△ 63		△ 110		△ 83		△ 27	
流動資産合計	61,116	49.8	66,286	53.0	64,860	52.3	1,425	2.2
II 固定資産								
有形固定資産								
建物及び構築物	12,588		12,517		11,721		795	
その他	8,249		7,063		7,915		△ 852	
有形固定資産合計	20,838	17.0	19,580	15.6	19,637	15.8	△ 56	△ 0.3
無形固定資産								
商標権	1,827		996		1,204		△ 207	
のれん	1,931		1,460		1,614		△ 153	
その他	1,522		1,210		1,298		△ 87	
無形固定資産合計	5,281	4.3	3,667	2.9	4,116	3.3	△ 449	△ 10.9
投資その他の資産								
投資有価証券	29,481		30,868		30,070		798	
繰延税金資産	4,359		3,210		3,775		△ 564	
その他	1,956		1,669		1,696		△ 26	
貸倒引当金	△ 384		△ 115		△ 117		2	
投資その他の資産合計	35,413	28.9	35,633	28.5	35,424	28.6	208	0.6
固定資産合計	61,533	50.2	58,881	47.0	59,179	47.7	△ 297	△ 0.5
資産合計	122,649	100.0	125,167	100.0	124,039	100.0	1,127	0.9
(負債の部)								
I 流動負債								
支払手形及び買掛金	8,206		8,893		9,687		△ 794	
短期借入金	740		679		687		△ 8	
未払法人税等	974		1,528		2,461		△ 933	
賞与引当金	1,170		1,130		2,134		△ 1,003	
返品調整引当金	48		67		64		2	
固定資産解体引当金	335		—		335		△ 335	
その他	9,347		7,212		4,570		2,642	
流動負債合計	20,822	17.0	19,512	15.6	19,941	16.1	△ 428	△ 2.2
II 固定負債								
社債	270		210		210		—	
長期借入金	789		1,140		593		547	
退職給付引当金	4,837		4,550		4,611		△ 60	
役員退職慰労引当金	308		275		285		△ 9	
その他	911		223		220		2	
固定負債合計	7,116	5.8	6,399	5.1	5,920	4.7	479	8.1
負債合計	27,939	22.8	25,912	20.7	25,861	20.8	50	0.2
(純資産の部)		%		%		%		%
I 株主資本								
資本金	700	0.6	700	0.6	700	0.6	—	—
資本剰余金	4,013	3.3	4,752	3.8	4,752	3.9	—	—
利益剰余金	88,238	71.9	92,667	74.0	91,564	73.8	1,102	1.2
自己株式	△ 27	△ 0.0	△ 123	△ 0.1	△ 94	△ 0.1	△ 28	30.4
株主資本計	92,924	75.8	97,996	78.3	96,922	78.2	1,074	1.1
II 評価・換算差額等								
その他有価証券評価差額金	1,121	0.9	1,209	1.0	1,199	1.0	10	0.9
為替換算調整勘定	41	0.0	49	0.0	56	0.0	△ 7	△ 12.9
評価・換算差額等計	1,163	0.9	1,259	1.0	1,256	1.0	3	0.3
III 少数株主持分	621	0.5	—	—	—	—	—	—
純資産合計	94,709	77.2	99,255	79.3	98,178	79.2	1,077	1.1
負債及び純資産合計	122,649	100.0	125,167	100.0	124,039	100.0	1,127	0.9

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)		当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)		増 減		(参考) 前期 (平成19年3月期)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
I 売上高	18,685	100.0	21,891	100.0	3,206	17.2	77,093	100.0
II 売上原価	7,663	41.0	7,639	34.9	△ 23	△ 0.3	30,620	39.7
売上総利益	11,021	59.0	14,251	65.1	3,229	29.3	46,473	60.3
III 販売費及び一般管理費	9,335	50.0	10,168	46.5	833	8.9	38,059	49.4
営業利益	1,686	9.0	4,082	18.6	2,396	142.1	8,413	10.9
IV 営業外収益	220	1.1	281	1.3	60	27.6	902	1.2
V 営業外費用	215	1.1	42	0.2	△ 173	△ 80.3	660	0.9
経常利益	1,690	9.0	4,321	19.7	2,630	155.6	8,655	11.2
VI 特別利益	7	0.0	0	0.0	△ 7	△ 98.3	626	0.8
VII 特別損失	391	2.0	169	0.7	△ 222	△ 56.8	1,027	1.3
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,306	7.0	4,152	19.0	2,846	217.8	8,255	10.7
法人税等	517	2.8	1,552	7.1	1,034	199.8	3,425	4.4
少数株主利益・損失(△)	6	0.0	—	—	△ 6	—	△13	△0.0
四半期(当期)純利益	782	4.2	2,600	11.9	1,818	232.5	4,842	6.3

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	(参考) 前期 (平成19年3月期)
区 分	金 額	金 額	金 額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,306	4,152	8,255
減価償却費	1,182	1,078	4,544
のれん償却額	56	62	232
売上債権の増加額(△)・減少額	794	1,458	△ 4,762
棚卸資産の増加額(△)・減少額	△ 768	40	△ 846
仕入債務の増加額・減少額(△)	1,616	△ 794	3,097
その他	2,833	558	△ 2,608
小 計	7,021	6,556	7,912
法人税等の支払額	△ 2,493	△ 2,349	△ 3,080
その他	65	98	173
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,593	4,305	5,005
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出	△ 196	△ 513	△ 3,332
国庫補助金等の受入による収入	—	—	1,500
投資有価証券の取得による支出	△ 2,751	△ 2,287	△ 6,789
投資有価証券の売却(償還)による収入	1,202	1,499	5,075
その他	584	21	406
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,161	△ 1,278	△ 3,140
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金の増加額・減少額(△)	△ 44	—	△ 52
長期借入金の返済による支出	△ 57	△ 60	△ 298
長期借入金の借入による収入	—	600	—
自己株式の取得・売却による支出(△)・収入	△ 19	△ 28	△ 47
配当金の支払額	△ 1,361	△ 1,418	△ 2,228
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,481	△ 907	△ 2,627
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	△ 1	1	23
<b>V 現金及び現金同等物の増加額・減少額(△)</b>	1,948	2,119	△ 737
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	13,580	12,842	13,580
<b>VII 現金及び現金同等物の期末残高</b>	15,528	14,962	12,842